

2009年4月27日

扇島工場に世界最大容量のLNGタンクの建設について ～4号LNGタンクの建設～

東京ガス株式会社
広 報 部

東京ガス株式会社（本社：東京都港区、社長：鳥原 光憲）は、同社扇島工場（横浜市鶴見区）に、貯蔵能力が世界最大となる25万k1のLNGタンクを1基建設します。これは地球温暖化対策などへの対応としての環境性や、原油と比した経済性・供給安定性、熱や電力など様々な需要形態に対応できる利便性を持つ天然ガスの需要拡大に対応し、供給安定性を高めるために建設するものです。

建設するLNGタンクは、安全性に優れ、土地の有効利用が図れ、周辺環境との調和を保つことが出来る覆土式の地下タンク※です。従来の20万k1タンクと同じ直径で、深さを12.5m深くすることにより、世界最大となる25万k1の貯蔵能力を実現しました。これまでは20万k1タンクが世界最大でしたが、本25万k1タンク1基で、一般のご家庭の年間使用量の約36万件分に相当する都市ガスを供給することが出来ます。

本タンクの建設は、清水建設株式会社（本社：東京都港区、社長：宮本 洋一）、株式会社IHI（本社：東京都江東区、社長：釜 和明）およびIHIプラント建設株式会社（本社：東京都江東区、社長：大村 殖）の3社による共同企業体に発注しました。着工は2009年11月で、2013年10月の完成を予定しています。

扇島工場は、1998年に稼動を開始しました。2003年に3号LNGタンク（20万k1）が稼動していますが、4号LNGタンクの完成により、同工場のLNG貯蔵能力は現在の60万k1から85万k1に拡大します。また東京ガス全体としては、37基目のLNGタンクとなり、貯蔵能力は現在の336万5千k1から361万5千k1に増強します。

※これまでの完全埋設式地下タンクと同様に、ドーム型の屋根に沿って土を盛り、その上を緑化します。

<4号LNGタンクの概要>

容 量	250,000k1
直 径	72m
深 さ	61.7m（液面からの深さ）

以 上